

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 尿道下裂症例における思春期の下垂体—性腺系

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 守屋 仁彦（泌尿器科・助教）

[研究の目的]

尿道下裂の発生には様々な要因が関与しています。その一つに内因性の内分泌異常が知られていますが、これまで幼少期のホルモン状況についての報告はあるものの、思春期以降についてはごく僅かです。

今回の研究は思春期を迎えた尿道下裂患者のホルモンの状態について後ろ向きに検討、解析することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000年1月から2009年4月までの間に北海道大学病院泌尿器科に通院または入院し尿道下裂と診断された患者さん。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、合併症、臨床検査データ、手術関連情報

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 守屋 仁彦

電話 011-716-1161 FAX : 011-706-7853